

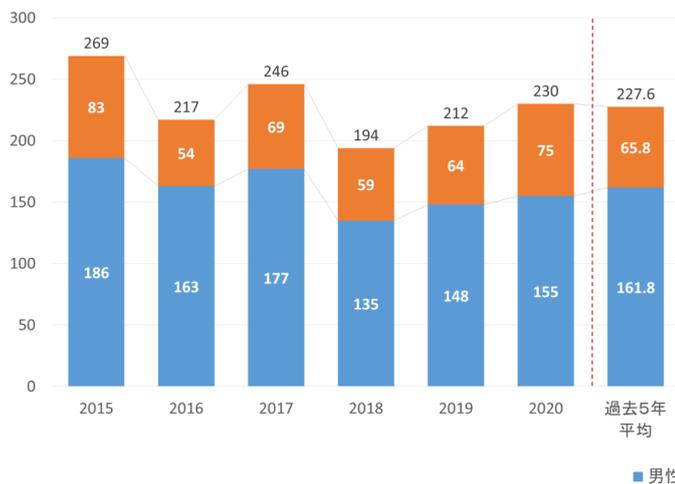
## 5 50歳代

図表 i -37

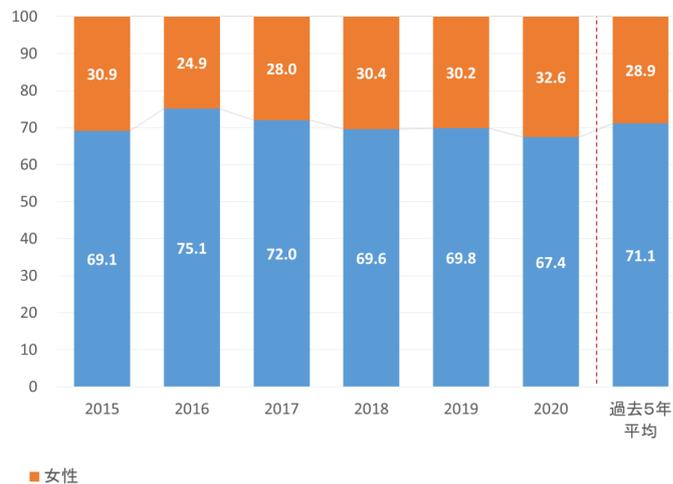
## 50歳代の自殺者数及び構成比

(出典:警察庁「自殺統計」より神奈川県がん・疾病対策課作成)

図表 i -37-1 自殺者数 (人)



図表 i -37-2 構成比 (%)



- 2020年における「50歳代」の自殺者数をみると、230人となっており、過去5年平均（227.6人）を上回っている。男女別の自殺者数をみると、男性では過去5年平均を下回る一方、女性では過去5年平均を上回っている（図表 i -37-1）。
- 2020年における「50歳代」の自殺者数の男女構成比をみると、女性の割合は32.6%で、2015年以降で最多であり、過去5年平均（28.9%）を上回っている（図表 i -37-2）。

5 50歳代

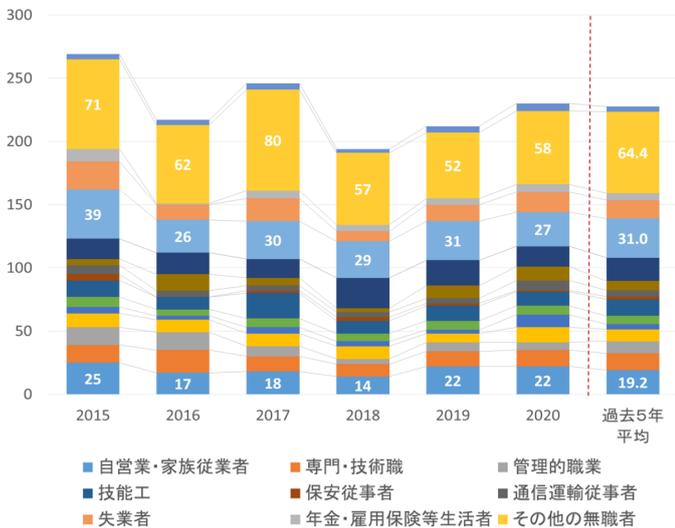
図表 i -38

50歳代の職業別自殺者数及び構成比

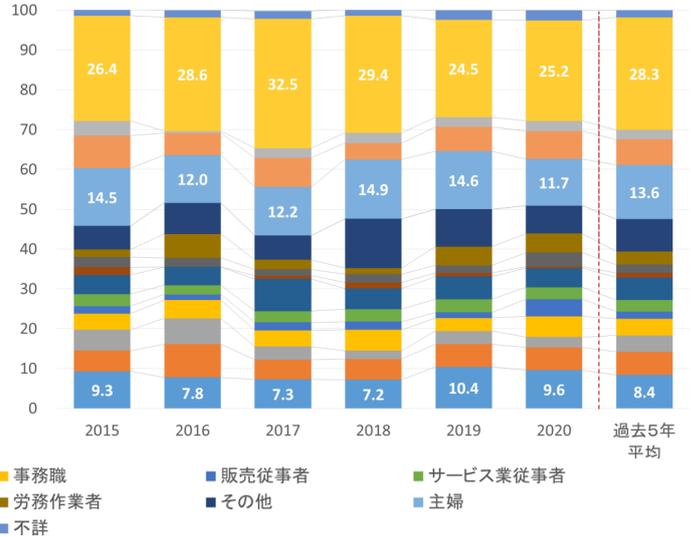
総数

(出典:警察庁「自殺統計」より神奈川県がん・疾病対策課作成)

図表 i -38-1 自殺者数 (人)



図表 i -38-2 構成比 (%)



- 2020年における「50歳代」の職業別の自殺者数をみると、「その他の無職者」(58人)が最も多く、次いで「主婦」(27人)、「自営業・家族従業者」(22人)の順となっている。このうち、「自営業・家族従業者」の自殺者数は過去5年平均を上回っている(図表 i -38-1)。

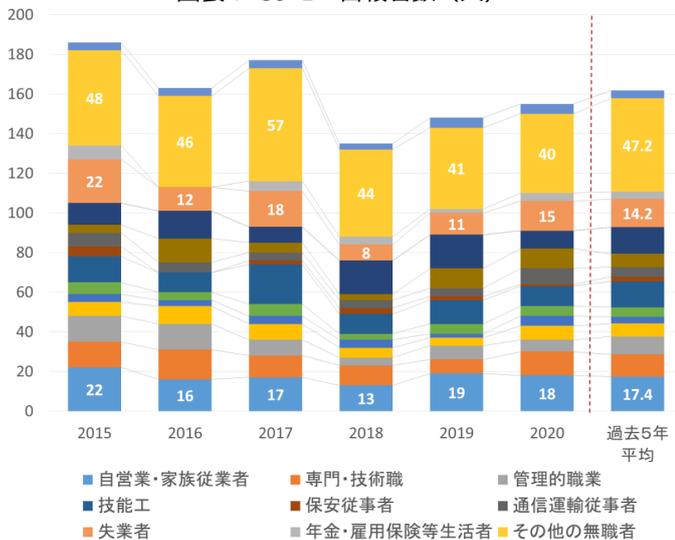
図表 i -39

50歳代の職業別自殺者数及び構成比

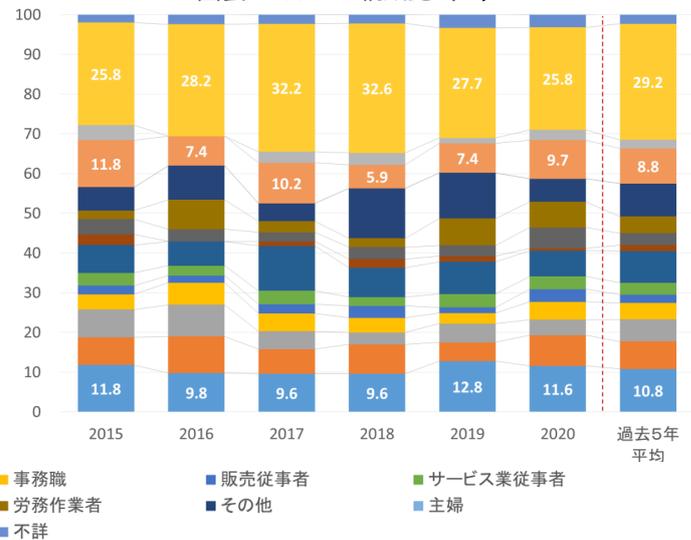
男性

(出典:警察庁「自殺統計」より神奈川県がん・疾病対策課作成)

図表 i -39-1 自殺者数 (人)



図表 i -39-2 構成比 (%)



- 2020年における「50歳代」の男女別、職業別の自殺者数をみると、男性では「その他の無職者」(40人)が最も多く、次いで「自営業・家族従業者」(18人)、「失業者」(15人)の順となっている。このうち、「自営業・家族従業者」と「失業者」の自殺者数は過去5年平均を上回っている(図表 i -39-1)。

5 50歳代

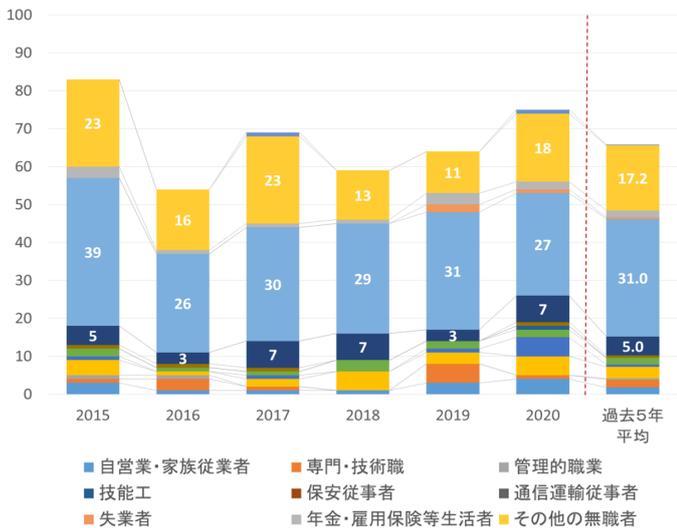
図表 i -40

50歳代の職業別自殺者数及び構成比

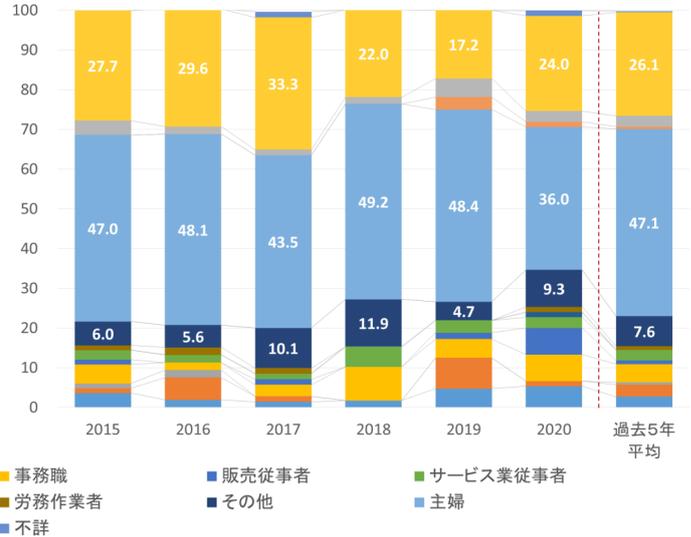
女性

(出典:警察庁「自殺統計」より神奈川県がん・疾病対策課作成)

図表 i -40-1 自殺者数 (人)



図表 i -40-2 構成比 (%)



- 2020年における「50歳代」の男女別、職業別の自殺者数をみると、女性では「主婦」(27人)が最も多く、次いで「その他の無職者」(18人)、「その他」(7人)の順となっている。このうち、「その他の無職者」と「その他」の自殺者数は過去5年平均を上回っている(図表 i -40-1)。

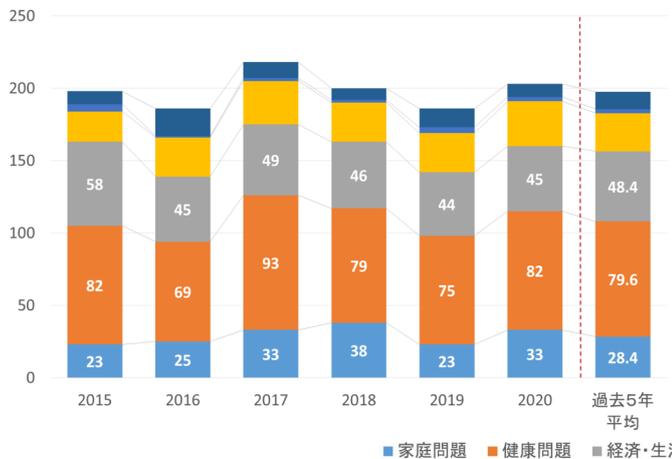
図表 i -41

50歳代の原因・動機別自殺者数及び構成比

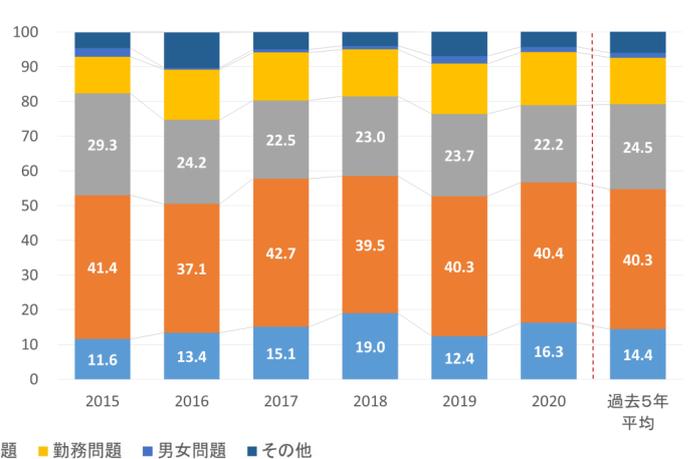
総数

(出典:警察庁「自殺統計」より神奈川県がん・疾病対策課作成)

図表 i -41-1 自殺者数 (人)



図表 i -41-2 構成比 (%)



注) 原因・不詳は除外している。原因・動機については、自殺者1人につき最大3つまで計上可能であるため、自殺者数と異なる。

- 2020年における「50歳代」の原因・動機別の自殺者数をみると、「健康問題」(82人)が最も多く、次いで「経済・生活問題」(45人)、「家庭問題」(33人)の順となっている(図表 i -41-1)。
- これらについて構成比をみると、「健康問題」と「家庭問題」の比率が過去5年平均を上回っている(図表 i -41-2)。

5 50歳代

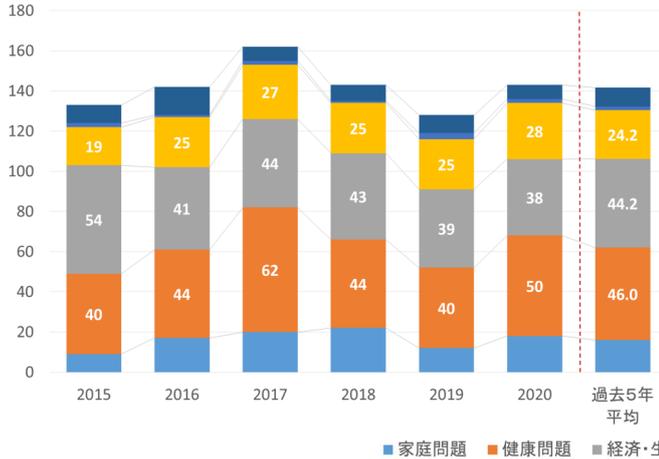
図表 i -42

50歳代の原因・動機別自殺者数及び構成比

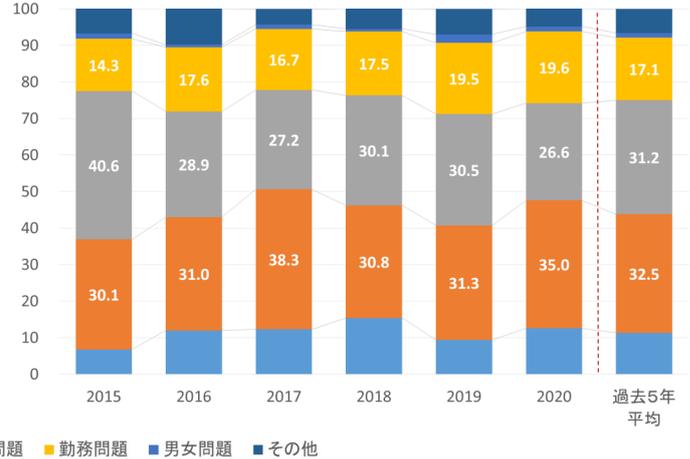
男性

(出典:警察庁「自殺統計」より神奈川県がん・疾病対策課作成)

図表 i -42-1 自殺者数 (人)



図表 i -42-2 構成比 (%)



注) 原因・不詳は除外している。原因・動機については、自殺者1人につき最大3つまで計上可能であるため、自殺者数と異なる。

- 2020年における「50歳代」の男女別、原因・動機別の自殺者数をみると、男性では「健康問題」(50人)が最も多く、次いで「経済・生活問題」(38人)、「勤務問題」(28人)の順となっている(図表 i -42-1)。
- これらについて構成比をみると、「健康問題」と「勤務問題」の比率が過去5年平均を上回っている(図表 i -42-2)。

図表 i -43

50歳代の原因・動機の詳細

男性

(出典:警察庁「自殺統計」より神奈川県がん・疾病対策課作成)

2020年の構成比の上位を表示		2020	2019	過去5年	大分類
順位	原因動機小分類	n=143	n=128	n=708	
1	病気の悩み・影響(うつ病)	20.3%	17.2%	16.7%	健康
2	生活苦	7.0%	7.0%	7.6%	経済生活
3	夫婦関係の不和	5.6%	0.8%	3.0%	家庭
3	仕事疲れ	5.6%	4.7%	5.5%	勤務
5	病気の悩み(身体の病気)	4.9%	6.3%	8.1%	健康
5	病気の悩み・影響(その他の精神疾患)	4.9%	1.6%	3.0%	健康
5	事業不振	4.9%	6.3%	4.5%	経済生活
5	失業	4.9%	2.3%	4.8%	経済生活
5	職場の人間関係	4.9%	5.5%	3.8%	勤務
10	職場環境の変化	4.2%	4.7%	4.0%	勤務

注) 原因・不詳は除外している。原因・動機については、自殺者1人につき最大3つまで計上可能であるため、自殺者数と異なる。

- 2020年における「50歳代」の男性の主な原因・動機の詳細をみると、「病気の悩み・影響(うつ病)」が最も多く、次いで「生活苦」、「夫婦関係の不和」・「仕事疲れ」の順となっている(図表 i -43)。

5 50歳代

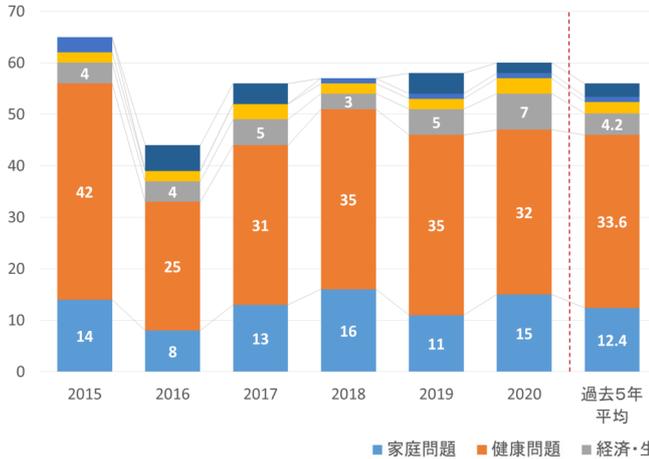
図表 i -44

50歳代の原因・動機別自殺者数及び構成比

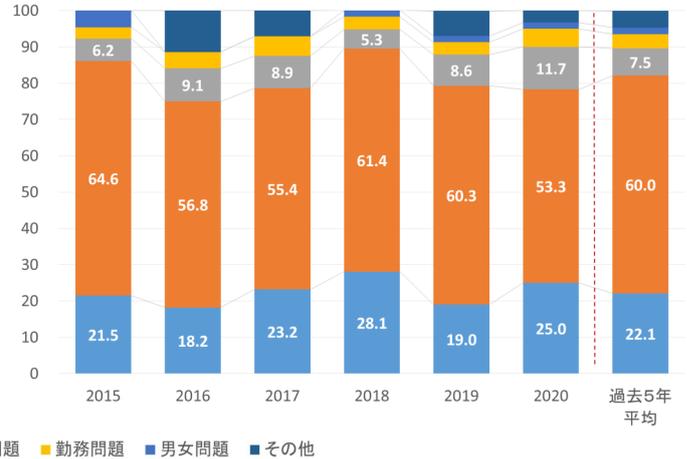
女性

(出典:警察庁「自殺統計」より神奈川県がん・疾病対策課作成)

図表 i -44-1 自殺者数 (人)



図表 i -44-2 構成比 (%)



注) 原因・不詳は除外している。原因・動機については、自殺者1人につき最大3つまで計上可能であるため、自殺者数と異なる。

- 2020年における「50歳代」の男女別、原因・動機別の自殺者数をみると、女性では「健康問題」(32人)が最も多く、次いで「家庭問題」(15人)、「経済・生活問題」(7人)の順となっている(図表 i -44-1)。
- これらについて構成比をみると、「家庭問題」と「経済・生活問題」の比率が過去5年平均を上回っている(図表 i -44-2)。

図表 i -45

50歳代の原因・動機の詳細

女性

(出典:警察庁「自殺統計」より神奈川県がん・疾病対策課作成)

2020年の構成比の上位を表示		2020	2019	過去5年	大分類
順位	原因動機小分類	n=60	n=58	n=280	
1	病気の悩み・影響(うつ病)	30.0%	31.0%	33.2%	健康
2	病気の悩み(身体の病気)	10.0%	13.8%	10.7%	健康
3	家族の死亡	6.7%	3.4%	3.2%	家庭
3	病気の悩み・影響(統合失調症)	6.7%	5.2%	8.6%	健康
5	家庭問題その他	5.0%	3.4%	3.2%	家庭
5	生活苦	5.0%	3.4%	2.9%	経済生活
7	夫婦関係の不和	3.3%	5.2%	5.7%	家庭
7	その他家族関係の不和	3.3%	0.0%	2.5%	家庭
7	家族の将来悲観	3.3%	3.4%	2.1%	家庭
7	病気の悩み・影響(その他の精神疾患)	3.3%	6.9%	5.7%	健康
7	負債(多重債務)	3.3%	0.0%	0.7%	経済生活
7	その他問題その他	3.3%	6.9%	2.9%	その他

注) 原因・不詳は除外している。原因・動機については、自殺者1人につき最大3つまで計上可能であるため、自殺者数と異なる。

- 2020年における「50歳代」の女性の主な原因・動機の詳細をみると、「病気の悩み・影響(うつ病)」が最も多く、次いで「病気の悩み(身体の病気)」、「家族の死亡」・「病気の悩み・影響(統合失調症)」の順となっている(図表 i -45)。

## 6 60歳代

図表 i -46

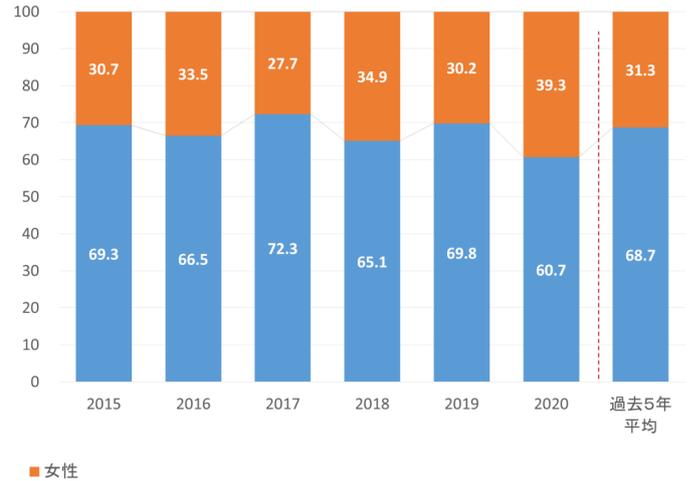
## 60歳代の自殺者数及び構成比

(出典:警察庁「自殺統計」より神奈川県がん・疾病対策課作成)

図表 i -46-1 自殺者数 (人)



図表 i -46-2 構成比 (%)



- 2020年における「60歳代」の自殺者数をみると、150人となっており、過去5年平均（172.6人）を下回っている。男女別の自殺者数をみると、男性では過去5年平均を下回る一方で、女性は過去5年平均を上回っている（図表 i -46-1）。
- 2020年における「60歳代」の自殺者数の男女構成比をみると、女性の割合は39.3%で、2015年以降で最多であり、過去5年平均（31.3%）を上回っている（図表 i -46-2）。

6 60歳代

図表 i -47

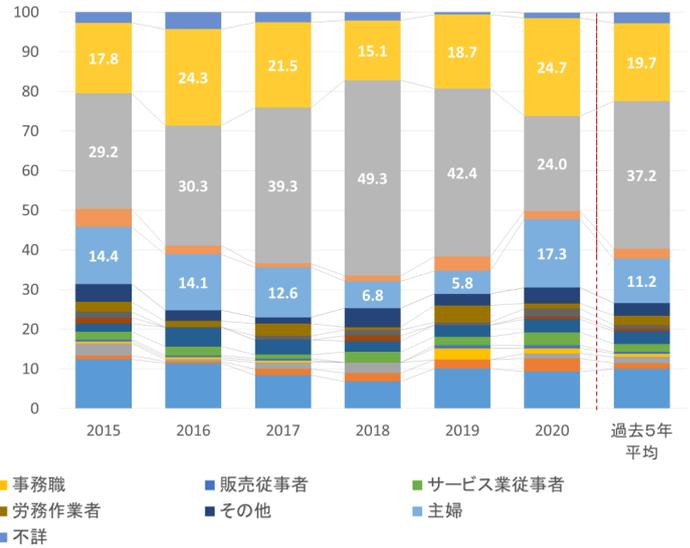
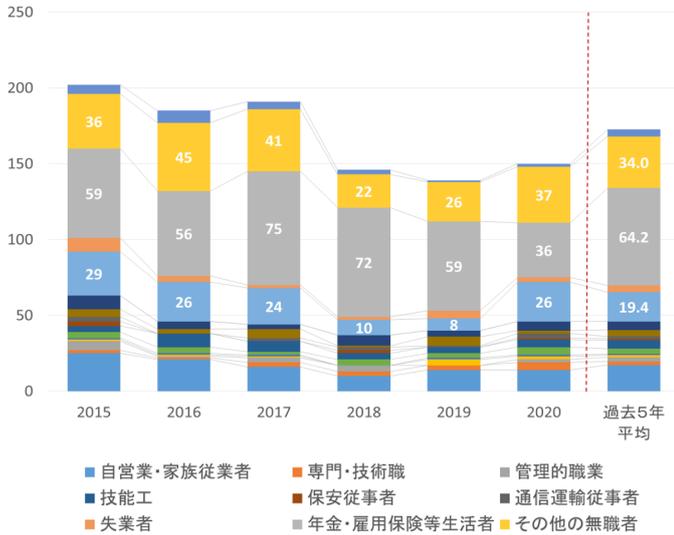
60歳代の職業別自殺者数及び構成比

総数

(出典:警察庁「自殺統計」より神奈川県がん・疾病対策課作成)

図表 i -47-1 自殺者数 (人)

図表 i -47-2 構成比 (%)



- 2020年における「60歳代」の職業別の自殺者数をみると、「その他の無職者」(37人)が最も多く、次いで「年金・雇用保険等生活者」(36人)、「主婦」(26人)の順となっている。このうち、「その他の無職者」と「主婦」の自殺者数は過去5年平均を上回っている(図表 i -47-1)。

図表 i -48

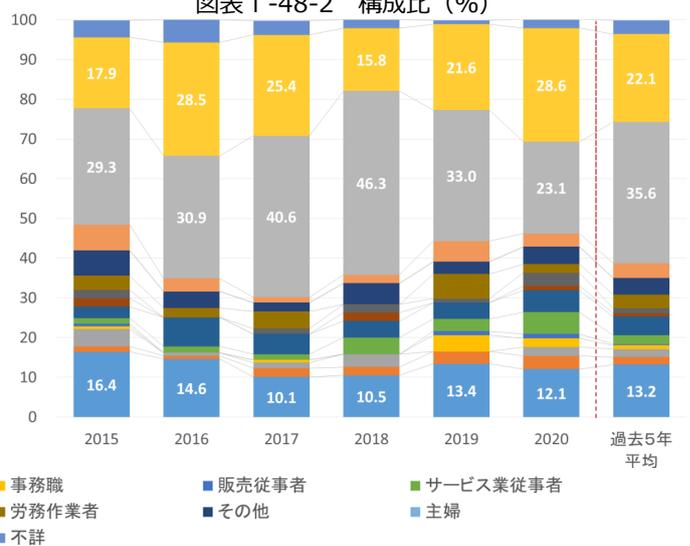
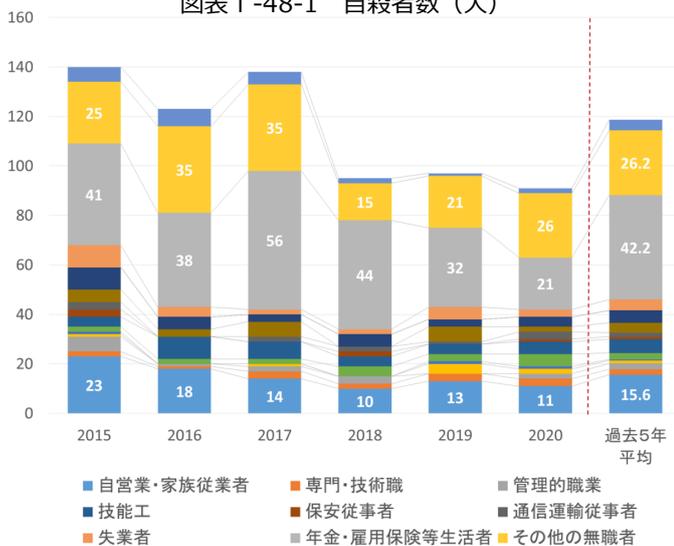
60歳代の職業別自殺者数及び構成比

男性

(出典:警察庁「自殺統計」より神奈川県がん・疾病対策課作成)

図表 i -48-1 自殺者数 (人)

図表 i -48-2 構成比 (%)



- 2020年における「60歳代」の男女別、職業別の自殺者数をみると、男性では「その他の無職者」(26人)が最も多く、次いで「年金・雇用保険等生活者」(21人)、「自営業・家族従業者」(11人)の順となっている。「その他の無職者」が過去5年平均とほぼ同数である一方、「年金・雇用保険等生活者」、「自営業・家族従業者」の自殺者数は過去5年平均を下回っている(図表 i -48-1)。

6 60歳代

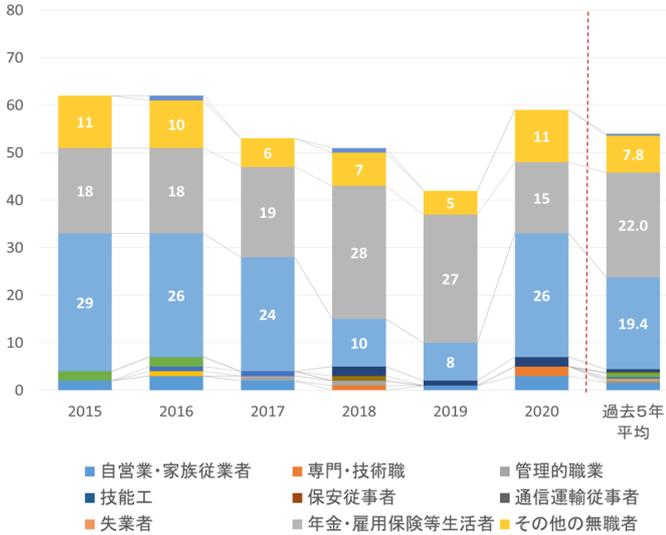
図表 i -49

60歳代の職業別自殺者数及び構成比

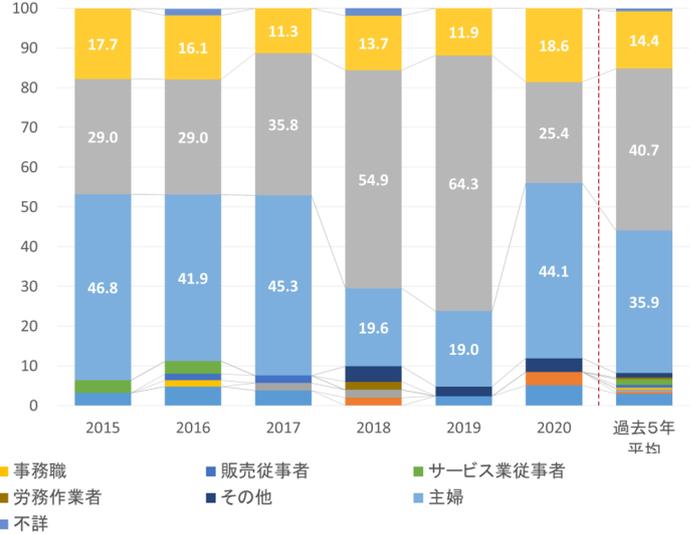
女性

(出典:警察庁「自殺統計」より神奈川県がん・疾病対策課作成)

図表 i -49-1 自殺者数 (人)



図表 i -49-2 構成比 (%)



- 2020年における「60歳代」の男女別、職業別の自殺者数をみると、女性では「主婦」(26人)が最も多く、次いで「年金・雇用保険等生活者」(15人)、「その他の無職者」(11人)の順となっている。このうち、「主婦」と「その他の無職者」の自殺者数は過去5年平均を上回っている(図表 i -49-1)。

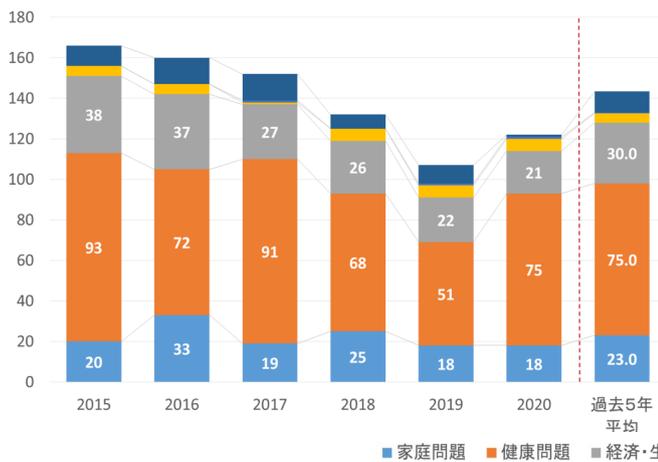
図表 i -50

60歳代の原因・動機別自殺者数及び構成比

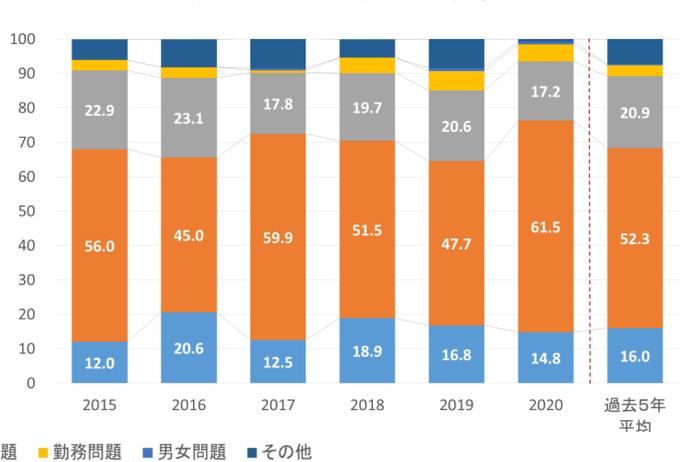
総数

(出典:警察庁「自殺統計」より神奈川県がん・疾病対策課作成)

図表 i -50-1 自殺者数 (人)



図表 i -50-2 構成比 (%)



注) 原因・不詳は除外している。原因・動機については、自殺者1人につき最大3つまで計上可能であるため、自殺者数と異なる。

- 2020年における「60歳代」の原因・動機別の自殺者数をみると、「健康問題」(75人)が最も多く、次いで「経済・生活問題」(21人)、「家庭問題」(18人)の順となっている(図表 i -50-1)。
- これらについて構成比をみると、「健康問題」の比率が過去5年平均を上回っている(図表 i -50-2)。

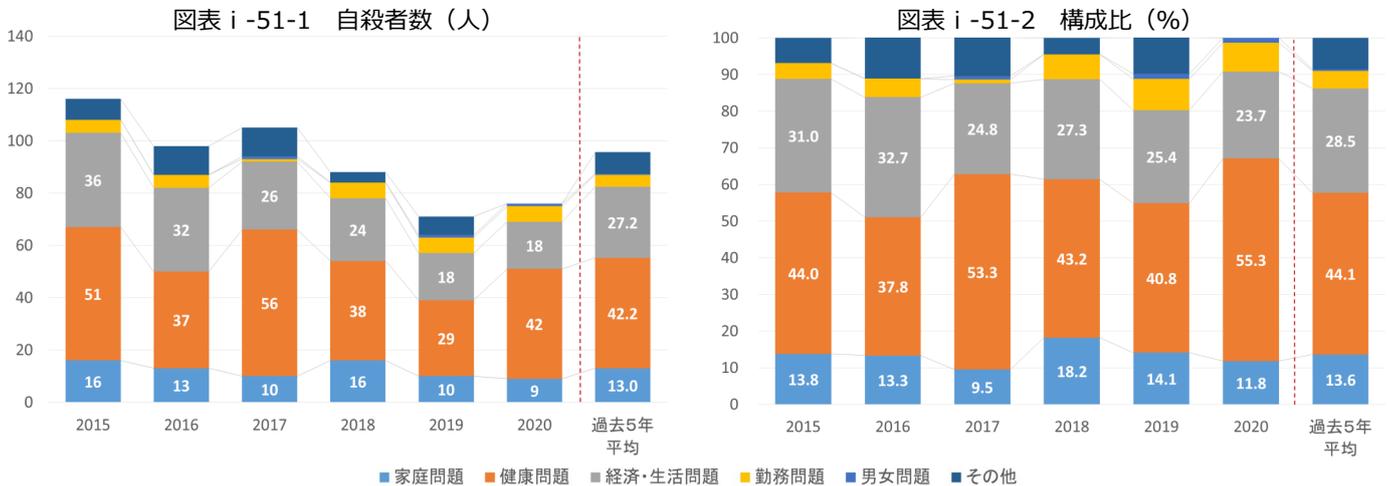
6 60歳代

図表 i -51

60歳代の原因・動機別自殺者数及び構成比

男性

(出典:警察庁「自殺統計」より神奈川県がん・疾病対策課作成)



注) 原因・不詳は除外している。原因・動機については、自殺者1人につき最大3つまで計上可能であるため、自殺者数と異なる。

- 2020年における「60歳代」の男女別、原因・動機別の自殺者数をみると、男性では「健康問題」(42人)が最も多く、次いで「経済・生活問題」(18人)、「家庭問題」(9人)の順となっている(図表 i -51-1)。
- これらについて構成比をみると、「健康問題」の比率が過去5年平均を上回っている(図表 i -51-2)。

図表 i -52

60歳代の原因・動機の詳細

男性

(出典:警察庁「自殺統計」より神奈川県がん・疾病対策課作成)

2020年の構成比の上位を表示		2020	2019	過去5年	大分類
順位	原因動機小分類	n=76	n=71	n=478	
1	病気の悩み(身体の病気)	22.4%	16.9%	20.5%	健康
2	病気の悩み・影響(うつ病)	21.1%	16.9%	13.6%	健康
3	事業不振	7.9%	4.2%	5.0%	経済生活
4	病気の悩み・影響(統合失調症)	5.3%	2.8%	2.9%	健康
5	夫婦関係の不和	3.9%	2.8%	3.3%	家庭
5	家族の死亡	3.9%	4.2%	2.9%	家庭
5	病気の悩み・影響(その他の精神疾患)	3.9%	1.4%	2.7%	健康
5	生活苦	3.9%	8.5%	8.6%	経済生活
5	負債(多重債務)	3.9%	2.8%	3.3%	経済生活
5	負債(その他)	3.9%	4.2%	5.4%	経済生活
5	仕事疲れ	3.9%	1.4%	1.5%	勤務

注) 原因・不詳は除外している。原因・動機については、自殺者1人につき最大3つまで計上可能であるため、自殺者数と異なる。

- 2020年における「60歳代」の男性の主な原因・動機の詳細をみると、「病気の悩み(身体の病気)」が最も多く、次いで「病気の悩み・影響(うつ病)」、「事業不振」の順となっている(図表 i -52)。

6 60歳代

図表 i-53

60歳代の原因・動機別自殺者数及び構成比

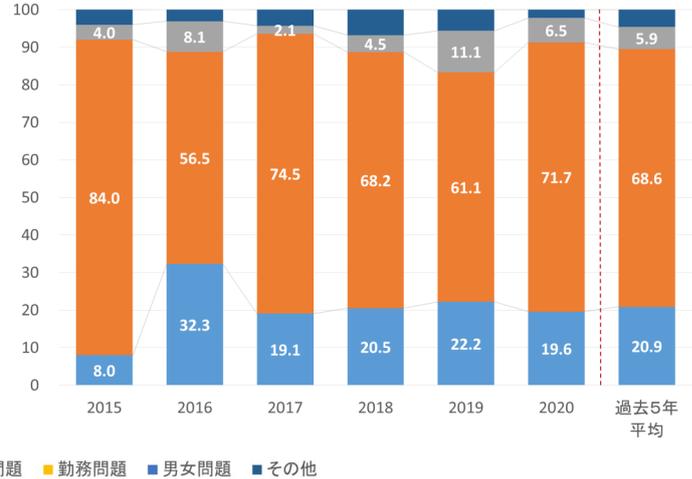
女性

(出典:警察庁「自殺統計」より神奈川県がん・疾病対策課作成)

図表 i-53-1 自殺者数 (人)



図表 i-53-2 構成比 (%)



注) 原因・不詳は除外している。原因・動機については、自殺者1人につき最大3つまで計上可能であるため、自殺者数と異なる。

- 2020年における「60歳代」の男女別、原因・動機別の自殺者数をみると、女性では「健康問題」(33人)が最も多く、次いで「家庭問題」(9人)、「経済・生活問題」(3人)の順となっている(図表 i-53-1)。
- これらについて構成比をみると、「健康問題」と「経済・生活問題」の比率が過去5年平均を上回っている(図表 i-53-2)。

図表 i-54

60歳代の原因・動機の詳細

女性

(出典:警察庁「自殺統計」より神奈川県がん・疾病対策課作成)

2020年の構成比の上位を表示		2020	2019	過去5年	大分類
順位	原因動機小分類	n=46	n=36	n=239	
1	病気の悩み・影響(うつ病)	30.4%	16.7%	32.2%	健康
2	病気の悩み(身体の病気)	21.7%	16.7%	20.5%	健康
3	病気の悩み・影響(その他の精神疾患)	10.9%	5.6%	5.9%	健康
4	夫婦関係の不和	8.7%	0.0%	2.9%	家庭
5	病気の悩み・影響(統合失調症)	6.5%	5.6%	4.2%	健康
5	経済生活問題その他	6.5%	0.0%	0.4%	経済生活
7	介護・看病疲れ	4.3%	8.3%	3.8%	家庭
8	家族の死亡	2.2%	2.8%	3.3%	家庭
8	家族の将来悲観	2.2%	2.8%	4.2%	家庭
8	家庭問題その他	2.2%	0.0%	0.8%	家庭
8	健康問題その他	2.2%	8.3%	2.1%	健康
8	孤独感	2.2%	2.8%	1.7%	その他

注) 原因・不詳は除外している。原因・動機については、自殺者1人につき最大3つまで計上可能であるため、自殺者数と異なる。

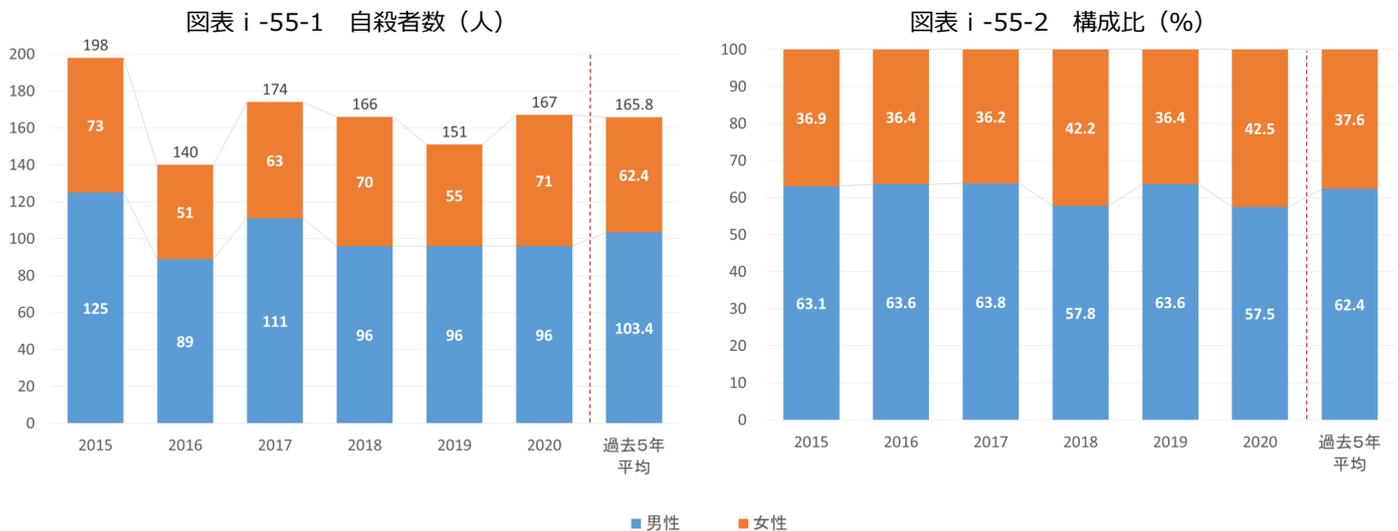
- 2020年における「60歳代」の女性の主な原因・動機の詳細をみると、「病気の悩み・影響(うつ病)」が最も多く、次いで「病気の悩み(身体の病気)」、「病気の悩み・影響(その他の精神疾患)」の順となっている(図表 i-54)。

## 7 70歳代

図表 i -55

## 70歳代の自殺者数及び構成比

(出典:警察庁「自殺統計」より神奈川県がん・疾病対策課作成)



- 2020年における「70歳代」の自殺者数をみると、167人となっており、過去5年平均（165.8人）を上回っている。男女別の自殺者数をみると、男性では過去5年平均を下回る一方、女性では過去5年平均を上回っている（図表 i -55-1）。
- 2020年における「70歳代」の自殺者数の男女構成比をみると、女性の割合は42.5%で、2015年以降で最多であり、過去5年平均（37.6%）を上回っている（図表 i -55-2）。

7 70歳代

図表 i -56

70歳代の職業別自殺者数及び構成比

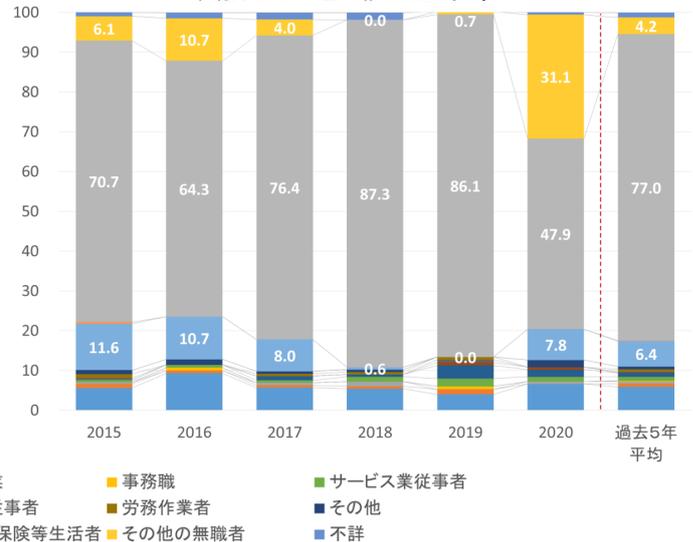
総数

(出典:警察庁「自殺統計」より神奈川県がん・疾病対策課作成)

図表 i -56-1 自殺者数 (人)



図表 i -56-2 構成比 (%)



- 2020年における「70歳代」の職業別の自殺者数をみると、「年金・雇用保険等生活者」(80人)が最も多く、次いで「その他の無職者」(52人)、「主婦」(13人)の順となっており、「その他の無職者」と「主婦」の自殺者数は過去5年平均を上回っている(図表 i -56-1)。

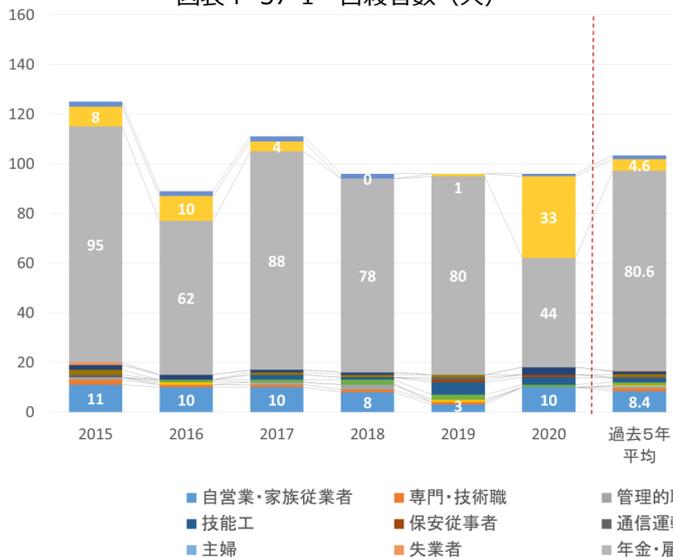
図表 i -57

70歳代の職業別自殺者数及び構成比

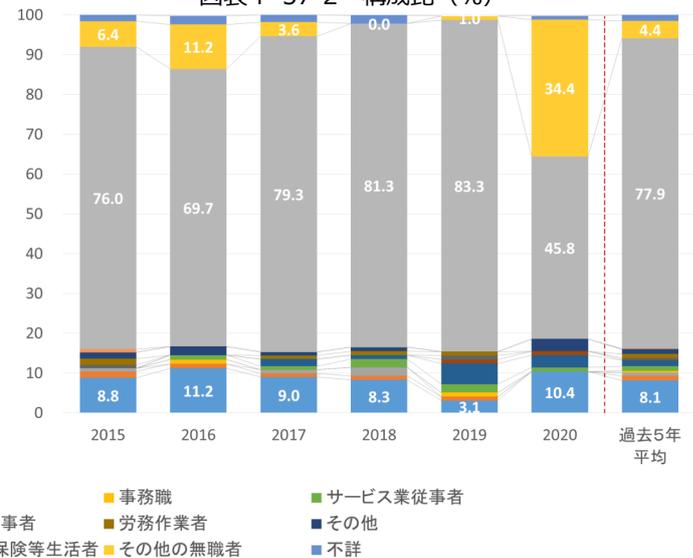
男性

(出典:警察庁「自殺統計」より神奈川県がん・疾病対策課作成)

図表 i -57-1 自殺者数 (人)



図表 i -57-2 構成比 (%)



- 2020年における「70歳代」の男女別、職業別の自殺者数をみると、男性では「年金・雇用保険等生活者」(44人)が最も多く、次いで「その他の無職者」(33人)、「自営業・家族従業者」(10人)の順となっている。このうち、「その他の無職者」と「自営業・家族従業者」の自殺者数は過去5年平均を上回っている(図表 i -57-1)。

7 70歳代

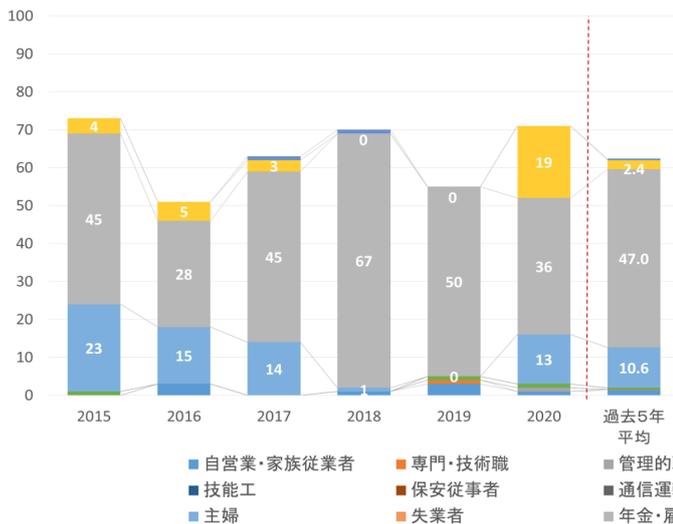
図表 i-58

70歳代の職業別自殺者数及び構成比

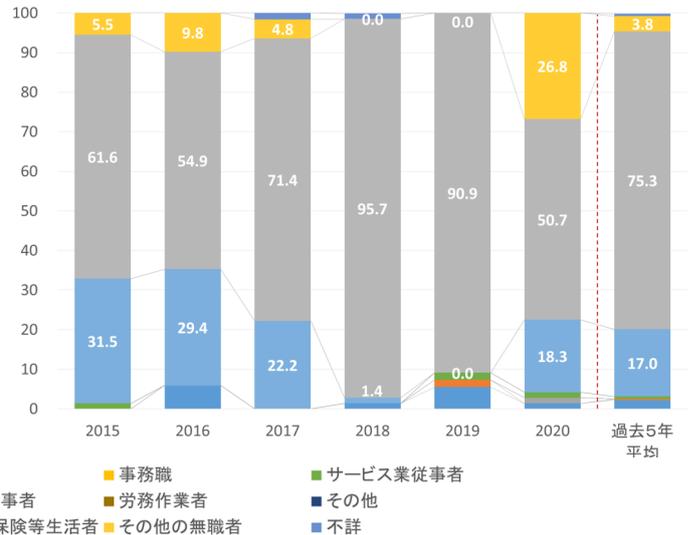
女性

(出典:警察庁「自殺統計」より神奈川県がん・疾病対策課作成)

図表 i-58-1 自殺者数(人)



図表 i-58-2 構成比(%)



- 2020年における「70歳代」の男女別、職業別の自殺者数をみると、女性では「年金・雇用保険等生活者」(36人)が最も多く、次いで「その他の無職者」(19人)、「主婦」(13人)の順となっている。このうち、「その他の無職者」と「主婦」の自殺者数は過去5年平均を上回っている(図表 i-58-1)。

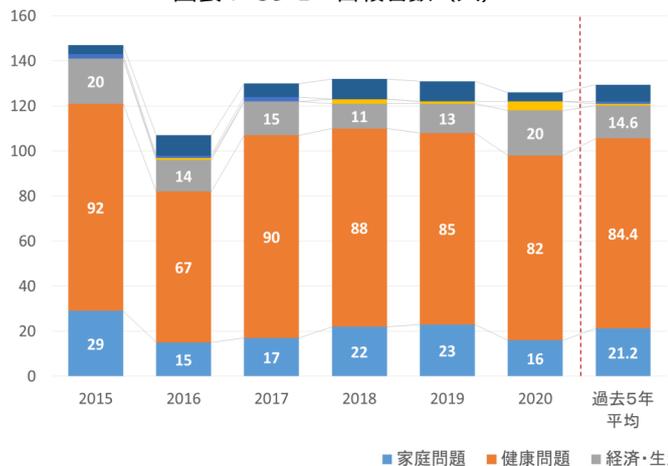
図表 i-59

70歳代の原因・動機別自殺者数及び構成比

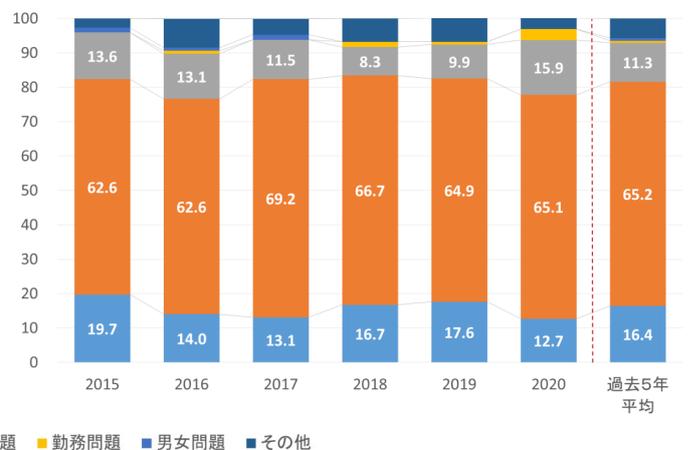
総数

(出典:警察庁「自殺統計」より神奈川県がん・疾病対策課作成)

図表 i-59-1 自殺者数(人)



図表 i-59-2 構成比(%)



注) 原因・不詳は除外している。原因・動機については、自殺者1人につき最大3つまで計上可能であるため、自殺者数と異なる。

- 2020年における「70歳代」の原因・動機別の自殺者数をみると、「健康問題」(82人)が最も多く、次いで「経済・生活問題」(20人)、「家庭問題」(16人)の順となっている(図表 i-59-1)。
- これらについて構成比をみると、「経済・生活問題」の比率が過去5年平均を上回っている(図表 i-59-2)。

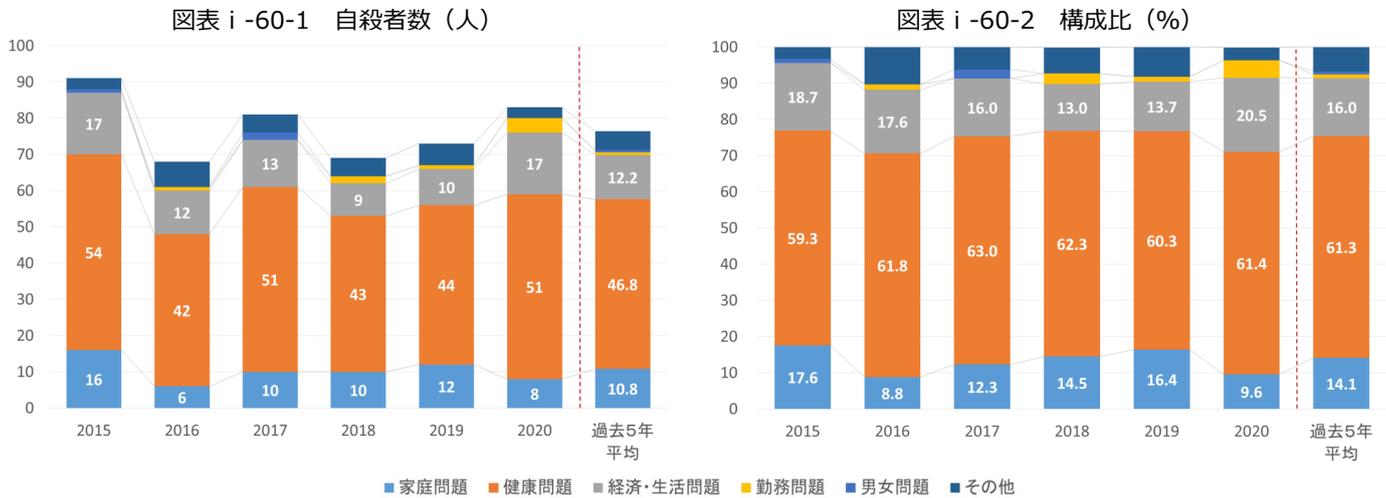
7 70歳代

図表 i -60

70歳代の原因・動機別自殺者数及び構成比

男性

(出典:警察庁「自殺統計」より神奈川県がん・疾病対策課作成)



注) 原因・不詳は除外している。原因・動機については、自殺者1人につき最大3つまで計上可能であるため、自殺者数と異なる。

- 2020年における「70歳代」の男女別、原因・動機別の自殺者数をみると、男性では「健康問題」(51人)が最も多く、次いで「経済・生活問題」(17人)、「家庭問題」(8人)の順となっている(図表 i -60-1)。
- これらについて構成比をみると、「健康問題」と「経済・生活問題」の比率が過去5年平均を上回っている(図表 i -60-2)。

図表 i -61

70歳代の原因・動機の詳細

男性

(出典:警察庁「自殺統計」より神奈川県がん・疾病対策課作成)

2020年の構成比の上位を表示		2020	2019	過去5年	大分類
順位	原因動機小分類	n=83	n=73	n=382	
1	病気の悩み(身体の病気)	42.2%	35.6%	35.6%	健康
2	病気の悩み・影響(うつ病)	10.8%	16.4%	17.5%	健康
3	生活苦	8.4%	4.1%	3.1%	経済生活
4	負債(その他)	3.6%	4.1%	5.5%	経済生活
4	孤独感	3.6%	4.1%	2.4%	その他
6	親子関係の不和	2.4%	5.5%	2.4%	家庭
6	家庭問題その他	2.4%	4.1%	2.6%	家庭
6	病気の悩み・影響(アルコール依存症)	2.4%	1.4%	0.5%	健康
6	病気の悩み・影響(その他の精神疾患)	2.4%	2.7%	2.9%	健康
6	事業不振	2.4%	1.4%	3.1%	経済生活
6	負債(多重債務)	2.4%	0.0%	1.3%	経済生活
6	経済生活問題その他	2.4%	2.7%	1.6%	経済生活

注) 原因・不詳は除外している。原因・動機については、自殺者1人につき最大3つまで計上可能であるため、自殺者数と異なる。

- 2020年における「70歳代」の男性の主な原因・動機の詳細をみると、「病気の悩み(身体の病気)」が最も多く、次いで「病気の悩み・影響(うつ病)」、「生活苦」の順となっている(図表 i -61)。

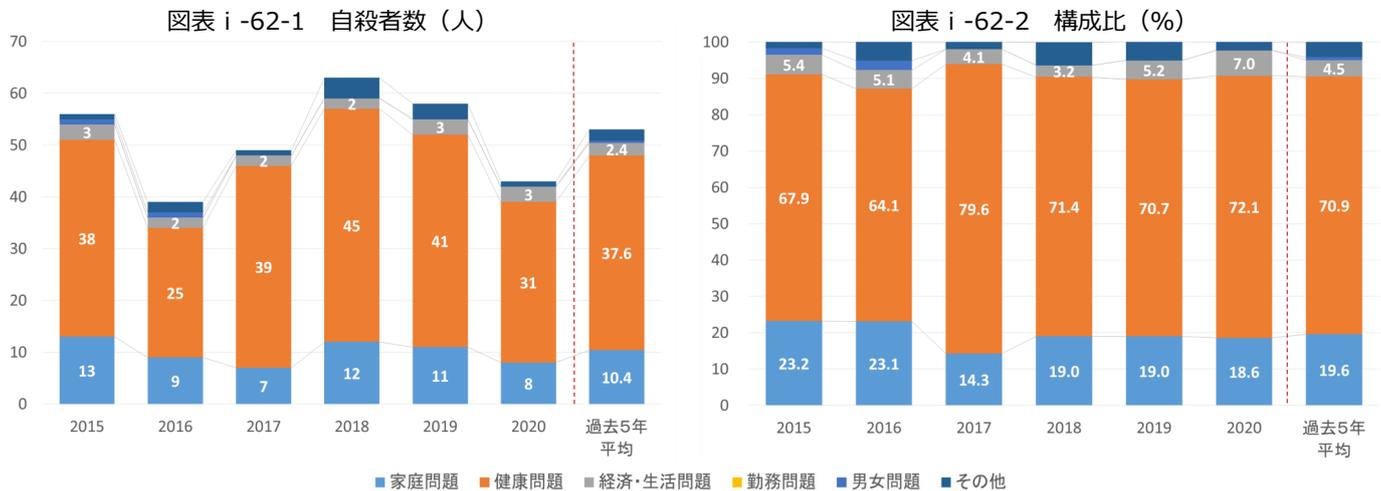
7 70歳代

図表 i -62

70歳代の原因・動機別自殺者数及び構成比

女性

(出典:警察庁「自殺統計」より神奈川県がん・疾病対策課作成)



注) 原因・不詳は除外している。原因・動機については、自殺者1人につき最大3つまで計上可能であるため、自殺者数と異なる。

- 2020年における「70歳代」の男女別、原因・動機別の自殺者数をみると、女性では「健康問題」(31人)が最も多く、次いで「家庭問題」(8人)、「経済・生活問題」(3人)の順となっている(図表 i -62-1)。
- これらについて構成比をみると、「健康問題」と「経済・生活問題」の比率が過去5年平均を上回っている(図表 i -62-2)。

図表 i -63

70歳代の原因・動機の詳細

女性

(出典:警察庁「自殺統計」より神奈川県がん・疾病対策課作成)

2020年の構成比の上位を表示		2020	2019	過去5年	大分類
順位	原因動機小分類	n=43	n=58	n=265	
1	病気の悩み(身体の病気)	30.2%	17.2%	27.5%	健康
1	病気の悩み・影響(うつ病)	30.2%	39.7%	30.2%	健康
3	夫婦関係の不和	7.0%	0.0%	3.8%	家庭
4	家族の死亡	4.7%	3.4%	4.5%	家庭
4	家族の将来悲観	4.7%	3.4%	1.5%	家庭
4	病気の悩み・影響(統合失調症)	4.7%	3.4%	4.5%	健康
4	病気の悩み・影響(その他の精神疾患)	4.7%	3.4%	4.9%	健康
4	生活苦	4.7%	0.0%	1.5%	経済生活
9	家族からのしつけ・叱責	2.3%	0.0%	0.4%	家庭
9	身体障害の悩み	2.3%	5.2%	2.3%	健康
9	経済生活問題その他	2.3%	1.7%	1.1%	経済生活
9	孤独感	2.3%	1.7%	1.9%	その他

注) 原因・不詳は除外している。原因・動機については、自殺者1人につき最大3つまで計上可能であるため、自殺者数と異なる。

- 2020年における「70歳代」の女性の主な原因・動機の詳細をみると、「病気の悩み(身体の病気)」・「病気の悩み・影響(うつ病)」が最も多く、次いで「夫婦関係の不和」の順となっている(図表 i -63)。

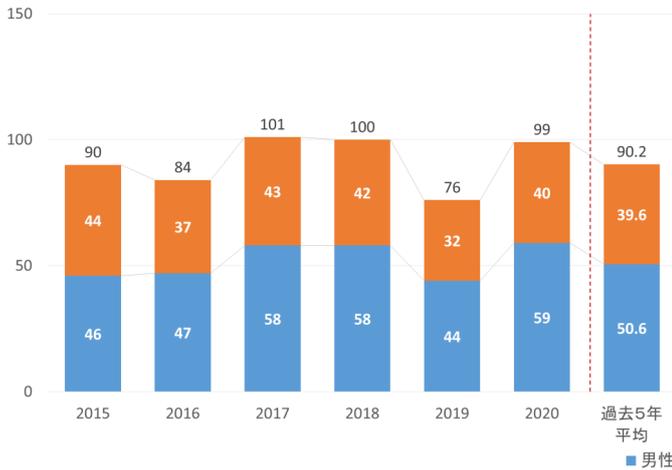
## 8 80歳以上

図表 i -64

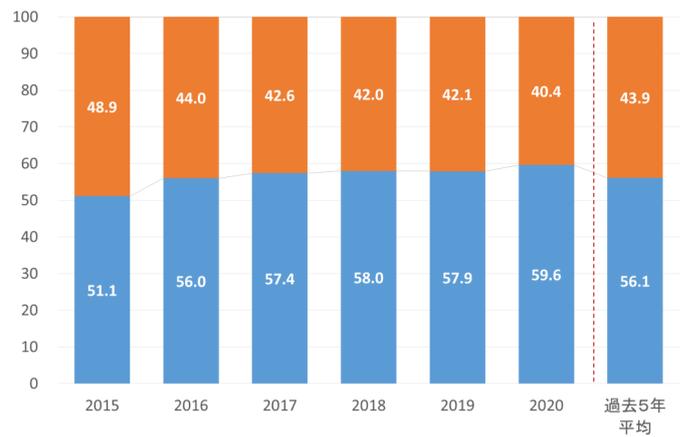
## 80歳以上の自殺者数及び構成比

(出典:警察庁「自殺統計」より神奈川県がん・疾病対策課作成)

図表 i -64-1 自殺者数 (人)



図表 i -64-2 構成比 (%)



- 2020年における「80歳以上」の自殺者数をみると、99人となっており、過去5年平均（90.2人）を上回っている。男女別の自殺者数をみると、女性が過去5年平均とほぼ同数である一方、男性は過去5年平均を上回っている（図表 i -64-1）。
- 2020年における「80歳以上」の自殺者数の男女構成比をみると、女性の割合は40.4%を占め、過去5年平均（43.9%）を下回っている（図表 i -64-2）。

8 80歳以上

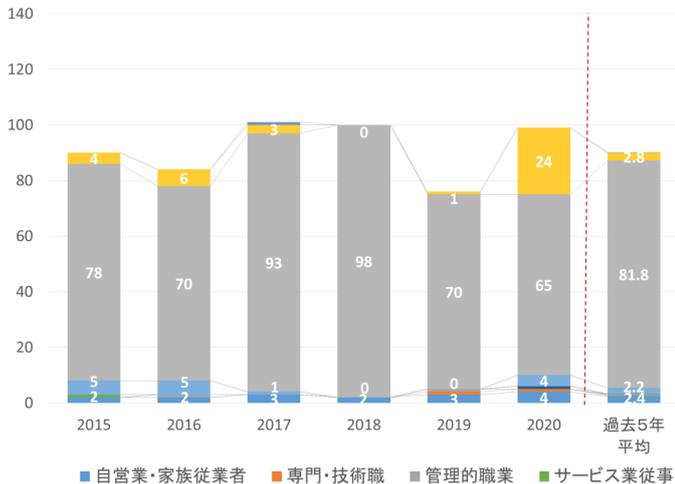
図表 i -65

80歳以上の職業別自殺者数及び構成比

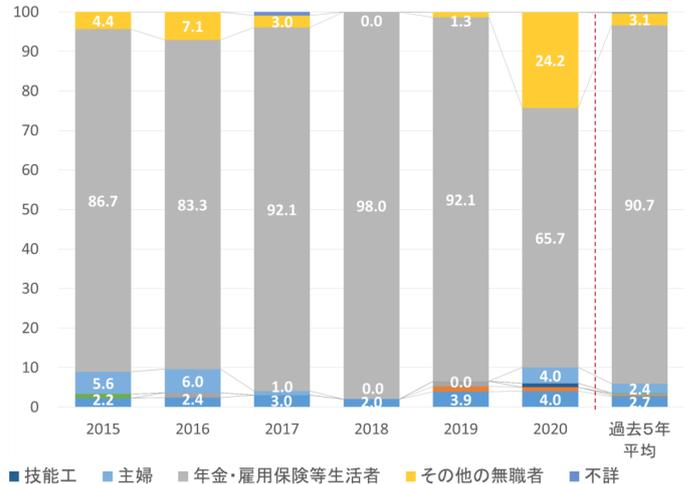
総数

(出典:警察庁「自殺統計」より神奈川県がん・疾病対策課作成)

図表 i -65-1 自殺者数 (人)



図表 i -65-2 構成比 (%)



- 2020年における「80歳以上」の職業別の自殺者数をみると、「年金・雇用保険等生活者」(65人)が最も多く、次いで「その他の無職者」(24人)、「自営業・家族従業者」(4人)・「主婦」(4人)の順となっている。このうち、「その他の無職者」、「自営業・家族従業者」と「主婦」の自殺者数は過去5年平均を上回っている(図表 i -65-1)。

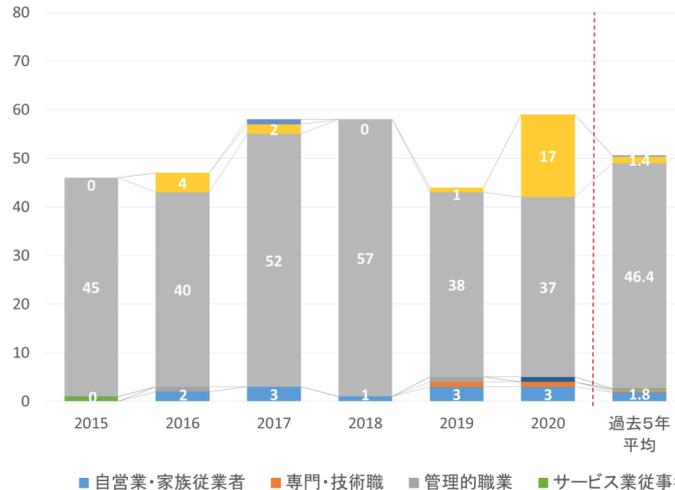
図表 i -66

80歳以上の職業別自殺者数及び構成比

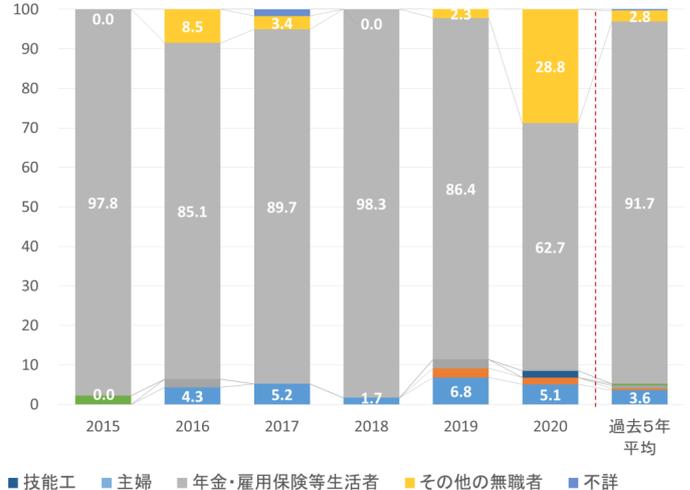
男性

(出典:警察庁「自殺統計」より神奈川県がん・疾病対策課作成)

図表 i -66-1 自殺者数 (人)



図表 i -66-2 構成比 (%)



- 2020年における「80歳以上」の男女別、職業別の自殺者数をみると、男性では「年金・雇用保険等生活者」(37人)が最も多く、次いで「その他の無職者」(17人)、「自営業・家族従業者」(3人)の順となっている。このうち、「その他の無職者」と「自営業・家族従業者」の自殺者数は過去5年平均を上回っている(図表 i -66-1)。

8 80歳以上

図表 i -67

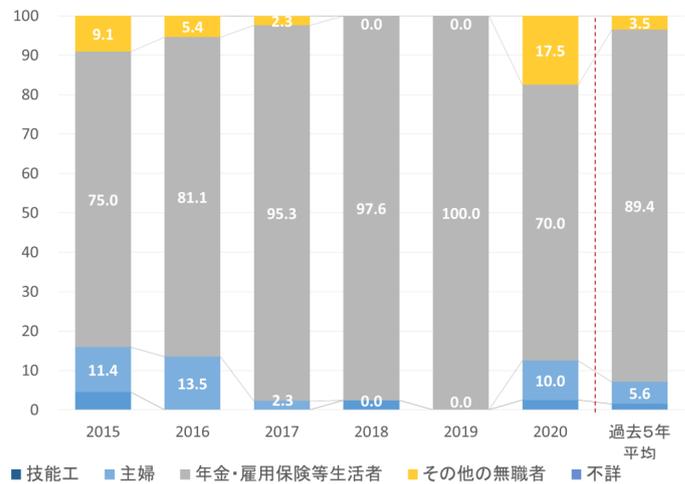
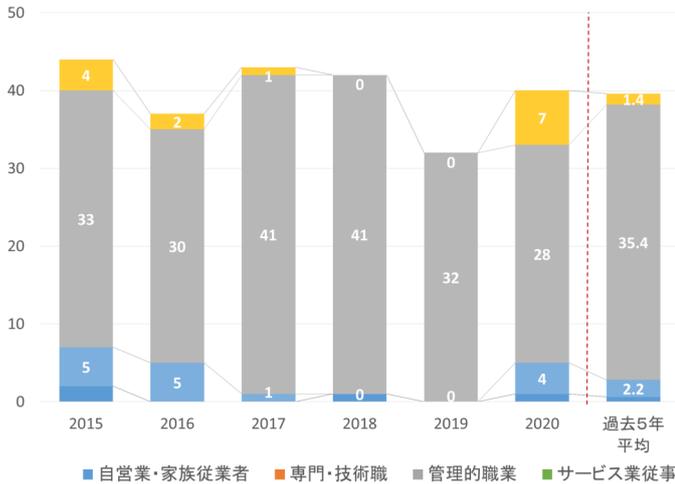
80歳以上の職業別自殺者数及び構成比

女性

(出典:警察庁「自殺統計」より神奈川県がん・疾病対策課作成)

図表 i -67-1 自殺者数 (人)

図表 i -67-2 構成比 (%)



- 2020年における「80歳以上」の男女別、職業別の自殺者数をみると、女性では「年金・雇用保険等生活者」(28人)が最も多く、次いで「その他の無職者」(7人)、「主婦」(4人)の順となっている。このうち、「その他の無職者」と「主婦」の自殺者数は過去5年平均を上回っている(図表 i -67-1)。

図表 i -68

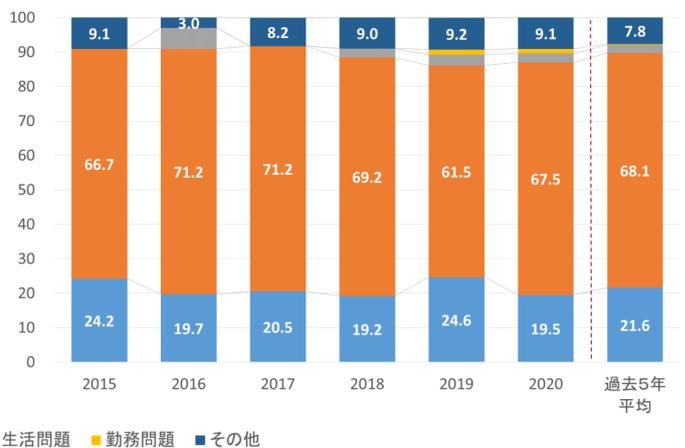
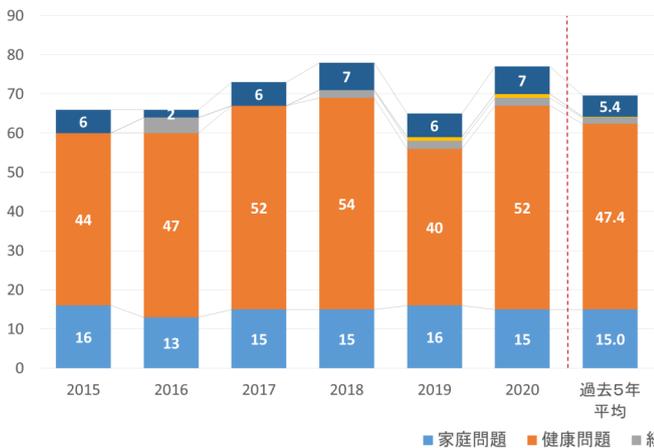
80歳以上の原因・動機別自殺者数及び構成比

総数

(出典:警察庁「自殺統計」より神奈川県がん・疾病対策課作成)

図表 i -68-1 自殺者数 (人)

図表 i -68-2 構成比 (%)



注) 原因・不詳は除外している。原因・動機については、自殺者1人につき最大3つまで計上可能であるため、自殺者数と異なる。

- 2020年における「80歳以上」の原因・動機別の自殺者数をみると、「健康問題」(52人)が最も多く、次いで「家庭問題」(15人)、「その他」(7人)の順となっている(図表 i -68-1)。
- これらについて構成比をみると、「その他」の比率が過去5年平均を上回っている(図表 i -68-2)。

8 80歳以上

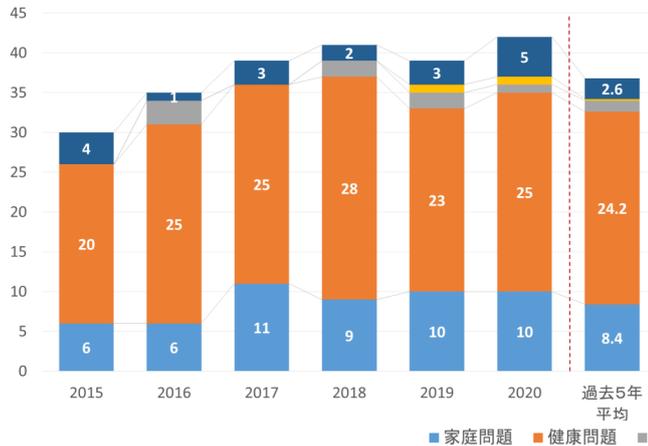
図表 i -69

80歳以上の原因・動機別自殺者数及び構成比

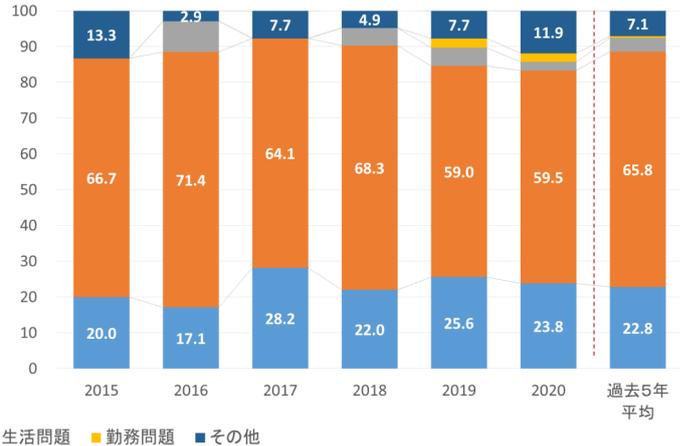
男性

(出典:警察庁「自殺統計」より神奈川県がん・疾病対策課作成)

図表 i -69-1 自殺者数 (人)



図表 i -69-2 構成比 (%)



注) 原因・不詳は除外している。原因・動機については、自殺者1人につき最大3つまで計上可能であるため、自殺者数と異なる。

- 2020年における「80歳以上」の男女別、原因・動機別の自殺者数をみると、男性では「健康問題」(25人)が最も多く、次いで「家庭問題」(10人)、「その他」(5人)の順となっている(図表 i-69-1)。
- これらについて構成比をみると、「家庭問題」と「その他」の比率が過去5年平均を上回っている(図表 i-69-2)。

図表 i -70

80歳以上の原因・動機の詳細

男性

(出典:警察庁「自殺統計」より神奈川県がん・疾病対策課作成)

2020年の構成比の上位を表示		2020	2019	過去5年	大分類
順位	原因動機小分類	n=42	n=39	n=184	
1	病気の悩み(身体の病気)	31.0%	43.6%	45.1%	健康
2	病気の悩み・影響(うつ病)	11.9%	2.6%	7.1%	健康
3	孤独感	9.5%	2.6%	3.3%	その他
4	夫婦関係の不和	7.1%	5.1%	2.2%	家庭
4	身体障害の悩み	7.1%	5.1%	4.9%	健康
6	親子関係の不和	4.8%	0.0%	3.3%	家庭
6	家族の将来悲観	4.8%	2.6%	4.3%	家庭
6	病気の悩み・影響(その他の精神疾患)	4.8%	7.7%	3.3%	健康
6	健康問題その他	4.8%	0.0%	3.8%	健康
10	その他家族関係の不和	2.4%	2.6%	1.1%	家庭

注) 原因・不詳は除外している。原因・動機については、自殺者1人につき最大3つまで計上可能であるため、自殺者数と異なる。

- 2020年における「80歳以上」の男性の主な原因・動機の詳細をみると、「病気の悩み(身体の病気)」が最も多く、次いで「病気の悩み・影響(うつ病)」、「孤独感」の順となっている(図表 i-70)。

8 80歳以上

図表 i-71

80歳以上の原因・動機別自殺者数及び構成比

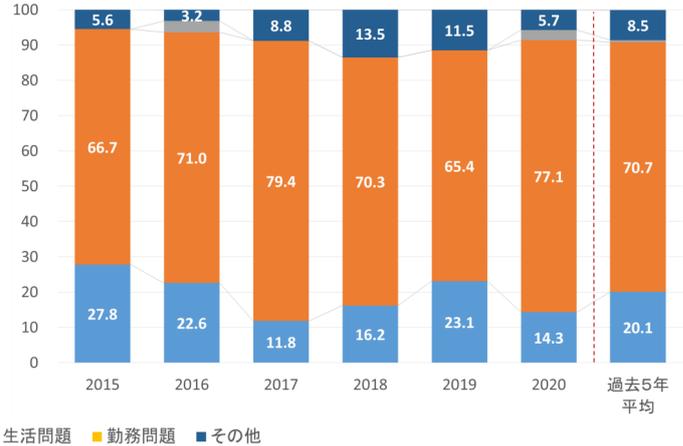
女性

(出典:警察庁「自殺統計」より神奈川県がん・疾病対策課作成)

図表 i-71-1 自殺者数 (人)



図表 i-71-2 構成比 (%)



注) 原因・不詳は除外している。原因・動機については、自殺者1人につき最大3つまで計上可能であるため、自殺者数と異なる。

- 2020年における「80歳以上」の男女別、原因・動機別の自殺者数をみると、女性では「健康問題」(27人)が最も多く、次いで「家庭問題」(5人)、「その他」(2人)の順となっている(図表 i-71-1)。
- これらについて構成比をみると、「健康問題」の比率が過去5年平均を上回っている(図表 i-71-2)。

図表 i-72

80歳以上の原因・動機の詳細

女性

(出典:警察庁「自殺統計」より神奈川県がん・疾病対策課作成)

2020年の構成比の上位を表示		2020	2019	過去5年	大分類
順位	原因動機小分類	n=35	n=26	n=164	
1	病気の悩み(身体の病気)	37.1%	23.1%	35.4%	健康
2	病気の悩み・影響(うつ病)	31.4%	34.6%	23.8%	健康
3	家族の将来悲観	5.7%	3.8%	3.0%	家庭
3	病気の悩み・影響(その他の精神疾患)	5.7%	3.8%	4.9%	健康
3	孤独感	5.7%	11.5%	6.1%	その他
6	夫婦関係の不和	2.9%	0.0%	0.6%	家庭
6	家族の死亡	2.9%	11.5%	6.1%	家庭
6	家庭問題その他	2.9%	7.7%	3.0%	家庭
6	身体障害の悩み	2.9%	0.0%	1.8%	健康
6	生活苦	2.9%	0.0%	0.6%	経済生活

注) 原因・不詳は除外している。原因・動機については、自殺者1人につき最大3つまで計上可能であるため、自殺者数と異なる。

- 2020年における「80歳以上」の女性の主な原因・動機の詳細をみると、「病気の悩み(身体の病気)」が最も多く、次いで「病気の悩み・影響(うつ病)」、「家族の将来悲観」・「病気の悩み・影響(その他の精神疾患)」・「孤独感」の順となっている(図表 i-72)。